

令和4年度 白河市文化芸術推進審議会第1回会議 会議録

○日 時 令和4年6月13日（月）10：30～12：15

○場 所 白河市役所 504会議室

○出席者 委員9名

宮田委員、浅川委員、鳴島委員、小林委員、高橋委員

本宮委員、海野委員、和知委員、青砥委員（リモート）

事務局6名

円谷副市長

鈴木公室長、小峰課長、鈴木係長、折笠副主査、中島副主査

○欠席者 我妻委員

○配付資料 次第

資料1 白河市文化芸術推進審議会について

資料2 令和4年度文化芸術関連事業について

資料3 第2期計画策定の方向性及びスケジュールについて

資料4 第1期計画の評価について

○公開状況 傍聴者なし

○内 容

1 開 会 10：30

2 委嘱状交付

（出席委員に対して、代理出席の円谷副市長より委嘱状の交付）

※委嘱内容 白河市文化芸術推進審議会委員に委嘱する

委嘱期間は令和6年5月31日までとする

3 市長あいさつ

（副市長よりあいさつ後、各委員より自己紹介、事務局より職員紹介）

4 審議会について

(事務局が資料 1 に基づいて説明)

5 正副委員長選出

※白河市文化芸術推進条例施行規則第 4 条第 1 項の規定による。

(事務局より、推薦等あるか確認)

— なし —

(事務局より、宮田慶子委員に会長を、海野仁兆委員に副会長を、それぞれお願いすることを提案)

— 了 —

(宮田会長、海野副会長より、就任挨拶)

6 諮 問

(副市長より宮田会長へ諮問書を手渡し、白河市文化芸術推進基本計画の第 2 期計画の策定にあたり、審議会に意見を求めた。)

(副市長、公務により退席)

7 議 事

※条例施行規則第 5 条第 1 項の規定、会長が議長となる。

議 長 青砥委員より出張先からのリモートでの会議出席の申し出があり、承認してよろしいか。

・リモート会議のルールをつくるべきではないか。

⇒市役所内で統一的につくるべきであるので、関係課と協議してまいりたい。

— 了 —

(青砥委員が議事に参加)

(1) 令和 4 年度文化芸術関連事業について

(事務局が資料 2 により説明)

議 長 このことについて、意見や質問などがあるか。

— なし —

- (2) 第2期計画策定の方向性及びスケジュールについて
- (3) 第1期計画の評価について
(関係があるため、事務局が資料3及び資料4を一括して説明)

議長 このことについて、意見や質問などがあるか。

【お祭やイベントについて】

- ・本市の提灯祭りをはじめ、相馬野馬追なども、年々参加者が減少している。理由のひとつとして、「しきたり」が影響しているという方もいる。参加するうえでの障壁をできる限り低くしていくことを考えていくべき。
- ・仙台の七夕祭りを見るたびに、昔の白河の七夕を思い出す。白河の商店街にたくさん七夕飾りがあって、近郷近在からみんな歩いて見に来ていた。途絶えてしまったことが残念でならない。再現出来たらきっと素晴らしい。
- ・提灯祭りや七夕、踊り流しなど、それぞれ主催者が違うので、情報がバラバラで分かりにくい。お祭りやイベントなどを一覧で整理すると、問い合わせや市外から来る人にも分かりやすいと思う。

【障がい者と文化芸術について】

- ・絵の具が飛んでも大丈夫な会場を準備したり、他人への迷惑を気にせずに活動できる環境を整えることで、障がいのある子どもの能力の発揮にもつながると思う。
- ・5月にコミネスで公演があった「ヘレン・ケラー」が良い試みであった。庭でミニコンサートを企画した時に、障がいのある子どもたちが参加し、楽器を持って踊って楽しそうであった。当事者の方々、例えば「親の会」のような方々から、やりたい活動や企画を提案してもらい、実施していくような仕組みも良いと思う。
- ・SDGsの考え方は、どの事業でも、どのプロセスでも、障がい者を排除しないという考え方なので、計画の策定に当たっては、そのような方向で進めていくべき。
- ・ボランティアをしていると、一人ひとりみんな違うことに気が付く。ひとまとめにして軽々しく障がい者を語ることはできない。深く考えていくべきと思うし、善意の押し売りはしないこと。
- ・善意の気持ちが、かえって傷つける場合がある。当事者の意見を反映し、より参加しやすい方向にもっていくべき。「ヘレン・ケラー」のような公演を行い、実績を積み重ねていくべきである。
- ・障がい者の皆さんを特別扱いするのではなく、私たちは一緒であるという認識で関わっていく方がよい。
- ・以前、髪を寄付するヘアドネーションに対する問題提起があったが、必要なことはカツラを寄付するとかではなく、髪の無い姿をそのまま受け入れる社会であるべき。

・「ヘレン・ケラー」の終了後に、聾の方々を対象にバックステージツアーを実施し、みなさんにとっても喜んでもらえた。いろいろな場所で、窓口を広げ、どんな方でも楽しめることが重要であると感じた。

【アートの振興について】

・前回の芸術祭で公募し、受賞した一般アートだるまのオークションを検討している。作品に価値がつくことが大事であるし、注目されることで芸術祭自体の宣伝にもつながる。

議 長 このほか、意見などがあるか。

— なし —

第2期の基本計画については、11月に中間整理案を提示し、また皆さんと計画について議論していくことになる。会議の内容だけでなく、皆さんと意見交換しながらやっていきたい。事務局から説明のあった第1期の評価も、よろしくお願ひしたい。議事へのご協力、様々なご意見に感謝申し上げます。

8 その他

事務局 その他、委員の皆さんより何かあるか。

— なし —

事務局 今年度は、第2期基本計画の審議のため、4回の会議を予定しており、次回は11月を予定している。委員の皆様には、基本計画の改定にあたり忌憚のないご意見を頂きたい。併せて、第1期計画への評価についてもよろしくお願ひする。

また、これから実施する予定の市やコミネス等の事業を可能な限り見ていただき、後でご意見を頂戴したいと考えている。

9 閉 会 12:15